

スポーツ選手を生がい支えるドクター

筑波大学附属小学校 五年 田中 宗知

えるため、ほくはスポーツをする全ての人の人生を支えられるスポーツドクターになりたい。

「あ、折れた！」ぐにやりとまがった右手首を見てそう思った。サッカーの所属チームの初ゆう勝をかけた決勝戦でほくは右手首を骨折した。この日から三カ月間サッカーをしてはいけないと医師から宣告された。週六日サッカーをしていたほくの生活は一変した。運動はできず、文字も左手で書くしかない、食事をするのも大変だった。そんな毎日ですごしている、「もう一生サッカーができないのではないか」と気持ちもしずんでいった。

自分がケガをして初めてサッカーはともケガの多いスポーツだと実感した。サッカーは足のケガが多いと思われがちだが、特に子供は自分の身を守るために手をついてしまい手首の骨折が多いらしい。他にもシーバー病やオスグッド病などスポーツのしすぎで体に支障をきたす

ケガや病気が色々あることを知った。そのような知識が元々あれば、日々の体のケアやケガをしない受け身であらかじめ身を守ることでもできたのかもしれない。だから、自分がスポーツドクターになり、講習会などを開きスポーツするすべての子供たちができるだけ安心・安全に運動に取り組める知識を世の中に広めていきたい。

そして、ケガをしたスポーツ選手が出来るだけ早く復活できるためのリハビリや食事リよう法をしつかり研究し、選手たちを支えていきたい。

さらに、それでもケガをして現場復帰できなくなったスポーツ選手の社会復帰できるための支えん組織を結成したい。

①ケガをしないようにするため②ケガをした人の早期復帰を手助けするため③ケガでスポーツを断念した人の生活を支

田中 宗知 のライフプラン

将来なにになりたいか？アスリートとしての経験を生かし、スポーツ選手を支えるスポーツドクター
その理由：サッカーの試合でけがをしてしまった経験から①けがをしない体づくりとテクニックを世の中に知らせる②けがをしたスポーツ選手の生がいをサポートしたい、と思ったから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2023年	11(小5)	右手首を骨折。リハビリにはげみ、早期回復を目指す。	手術代、入院代、通院代
2024年	12(小6)	サッカートレセン東京都代表に入る。	サッカーシューズ代、チームの月謝
2025年	13(中1)	筑波大学附属中学校に入学。サッカー部に入部し、一年生でスタメンに抜てきされる。	部費、授業料
2026年	14(中2)	サッカー部東京都大会出場にこけんする。ナショナルトレセンU-14に選出される。	サッカートレニム代、遠せいで
2027年	15(中3)	サッカー部関東大会ゆう勝にキャプテンとして導く。高校入学準備を始める。	じゅく代
2028年	16(高1)	筑波大学附属高校に入学。視察を公けるためにスペインへ短期留学をする。	リョウ学代、入学金、授業代
2029年	17(高2)	英検1級に合格。サッカー部全国大会出場にこけんする。スポーツドクターの講演会を聞きに行く。	英検代、じゅく代
2030年	18(高3)	サッカー部部長として高校サッカー全国ゆう勝にこけんし、MVPをかくとく。大学授験に向けてもう勉強する。	じゅく代、サッカー遠せいで
2031年	19(大1)	筑波大学医学群に入学し、サッカー部に所属。体力系(マンチエスタ)にサッカー短期留学する。	入学金、授業料、部費、サッカー留学と船費
2032年	20(大2)	基幹的専門的医学を学ぶ。サッカー部スタメンに選ばれる。サッカーコーチのアルバイトを始める。	授業料
2033年	21(大3)	全日本大学サッカー選手権大会でハットトリック達成。	遠せいで
2034年	22(大4)	全日本大学サッカー選手権大会で主しょうとしてゆう勝する。	学費
2035年	23(大5)	医学部で本格的に学び、コーチおよびスポーツドクターとして品川区の地帯こけんする。	
2036年	24(大6)	大恋愛の末、結まんする。医師の国家試験に合格する。	結まんゆびわ代、結まん式場代
2037年	25	卒業旅行でチャビオンズリーグの決勝を見る。成尾病院のけんしゅう医になる。	サッカーチケット代、旅行代
2038年	26	横浜FCのせん属医として無償で選手のサポートをする。	マイホーム代、出産費
2050年	38	日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)の代表ドクターとして全へのサッカー選手が要ししてサッカーを出来るかん境を整える。	育児代、車代